

3学期始業式 校長あいさつ

あらためまして、新年のあいさつをしましょう。「あけまして、おめでとうございます」新しい1年が始まりました。6年生は、中学生へ。1～5年生は、1つ学年が進級です。4月に向けた大切な準備の3学期ですね。

きょうは皆さんに（絵本を見せながら）、イソップ童話「アリとキリギリス」の話をします。知っていますか？ 自分はアリさん、キリギリスさん、どっちに似ているか考えながら聞いてください。

『暑い夏、重い食べ物を背負って巣に運ぶアリたちがいました。そばにいたキリギリスは、暑い日に働き続けるアリたちを見て、笑っていました。そして、キリギリスは、昼も夜も働かず、毎日歌ってばかりで遊んでいました。やがて草木が枯れて冬になりました。準備をしてこなかったキリギリスは、お腹をすかせて「ブルブル寒い寒い」と凍えていました。キリギリスは、後悔しながらアリのことを思い出し、食べ物を分けてもらおうと考え、行ってみることにしました。バカにされて怒っていたアリたちは、キリギリスの頼みを断りましたが、かわいそうになって少し分けてあげることにしました。キリギリスは何度も謝り、お礼を言って食べ物をもらったのです』

将来の自分たちのために、毎日コツコツ努力したのがアリさんたち。遊んでばかりいて努力せずに、未来に困ってしまったのがキリギリスさんたち。みなさんはどっちに似ていると思いますか？

今は、夏どころか冬ですよ。油断していると準備もしないで新しい学年を迎えることになり、キリギリスさんのように4月のスタートに困ってしまいます。

アリさんたちのように自分にできることをコツコツ続けていくこと。3学期は51日と短いですが、「アリさんを目指してラストスパート」です。皆さんのそのような頑張りを、毎日応援しています。

※ 「アリとキリギリス」の結末は複数ありますが、話の内容の整合性上、多少アレンジをして話をしました。